

平成15年4月に暫定開通

開かずの踏切として、成田の交通難所の一つにあげられているJR囲護台踏切。これを解消するため、平成15年4月の暫定開通を目指し、立体交差化工事が進められています。これまでの進捗よく状況と今後の予定などを担当課に聞いてみました。



着々と進む囲護台踏切立体交差化工事

Q トンネル工事の現状と今後の工事内容はどのようになっていますか。

A 軌道直下に補強杭を入れて土砂の掘削作業を進めています。

電車の安全運行を妨げることなく進めていかなければならないので、慎重に施工する必要があります。引き続きこの作業を進める予定です。

また、掘削の終了した部分から鉄筋を組んでコンクリートを流し込む本格的なトンネル築造工事に着手する予定です。

Q トンネル内の道路について教えてください。

A トンネルの全長は約50m、道路幅9.5mですが、片側に2.5mの歩道が設置され、歩行者の通行を確保しています。

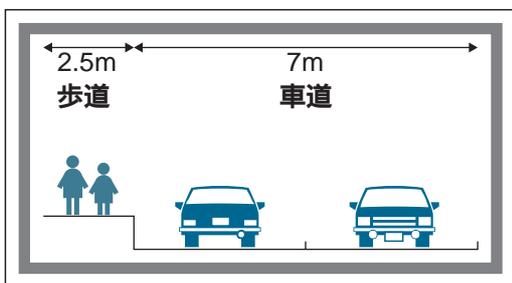
Q 「暫定開通」ってどんな状況ですか。

A 4月に出来上がるのは、トンネル本体で、その後内装工事および旧道との取付工事が残ります。旧道を工事するときは、迂回路としてトンネル内を通行し、内装工事を実施するときは従来の踏切を通行します。この作業の繰り返しによりトンネルが完成し本格開通となります。

Q トンネルが完成し事業が終了すると、どんな効果があるのでしょうか。

A 慢性的な交通渋滞が緩和され、表参道（市街地）と成田ニュータウンを最短で結ぶこと

トンネル内断面図



ができるようになります。また、狭い踏切内で立ち往生する車もなくなります。これからはスムーズな通行が可能になり、安全な生活道路に生まれ変わります。

なお、今後工事の進行に伴い、市道の一部つ回などが発生する場合がありますので、その際は地区の回覧などでお知らせします。工事については細心の注意を払い進めてまいりますので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

くわしくはJR東日本工事事務所総務課（☎043・247・0166）、市土木課（☎20・1550）へ。